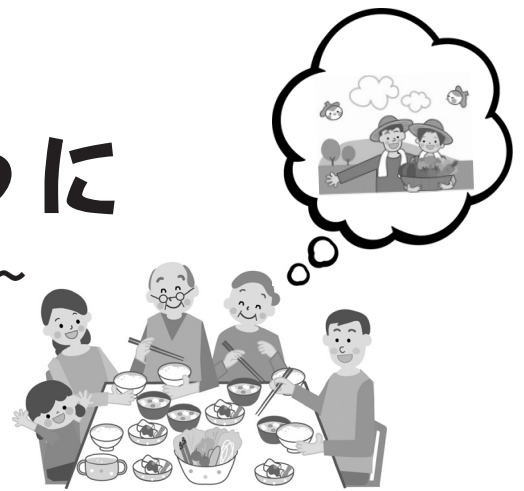


砂川市の農業を守るために

～安全・安心な地元産の農畜産物を食卓へ～

地元産の農畜産物は、鮮度がよく価格が安いなど、さまざまなメリットがあります。そんな地元産の農畜産物をいつまでも皆さんの食卓へお届けするための取り組みを、市の農業の現状や課題と併せて紹介します。



砂川市の農業の現状と課題

砂川市の農業は、行政面積の約19%を占める農地に、米やそば、たまねぎなどの農作物を育てているほか、酪農や養豚、養鶏など、多種多様な経営が行われています。【表1】

しかし、全国的に課題となっている農業者の高齢化や担い手不足は、砂川市にとっても例外ではありません。平成27年の農業者数は、平成12年と比較すると全体で109人、約35%減少しており、年齢別の構成比では、70歳以上の比率が平成12年では全体の約26%に対し、平成27年では全体の約42%と上昇しており、高齢化

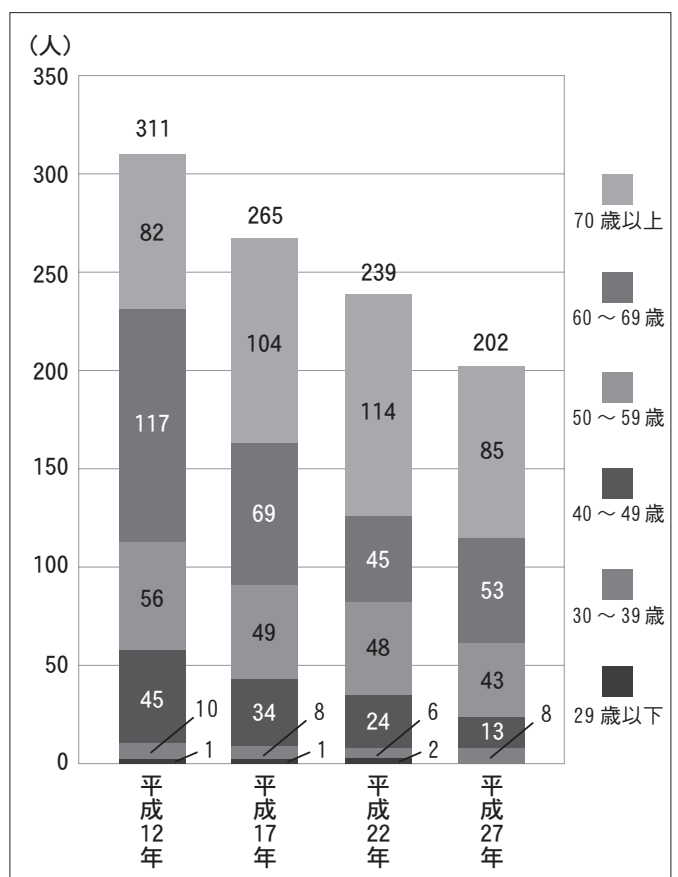
【表1】砂川市の農畜産物の状況（平成29年）

農産物	面積	畜産物	頭数
米	465 ha	乳用牛	287 頭
そば	237 ha	豚	9,349 頭
たまねぎ	100 ha	鶏	1,093 羽
トマト	11 ha		
きゅうり	3 ha		
果樹	8 ha		
牧草	1,013 ha		

※ 市農政課調べ

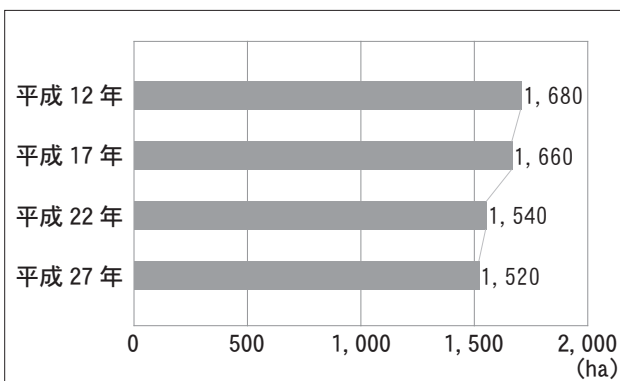
が顕著に現れています。【表2】
 一方で耕地面積の減少率は約10%【表3】と農業者数の減少率より少なくなっているため、一人当たりの経営面積は、増加傾向となっています。
 経営面積が増加することは労力が増加するほか、トラクターや収穫機などの農機具を大きくするための投資も増え、農業者の負担になってきます。
 今後、このような状況がますます進むことが予想されており、農業者の確保と安心・安全な農畜産物の流通への取り組みが、さらに重要となっています。

【表2】市内農業者数の推移



※ 市農政課調べ

【表3】耕地面積の推移



※ 市農政課調べ

農業を守る取り組み

◆担い手不足の解消へ

農業者の高齢化など、農業の担い手不足を解消するため、市では、新規就農者の増加に向けて支援を行っています。また、広い土地での作業が困難な高齢の農業者などを手助けする農業者同士の組織があります。

【市が実施する支援】

- 地域おこし協力隊の委嘱
市外から新規就農希望者を募集し、就農技術の習得や農業の情報発信などを行う協力隊員を委嘱し、委嘱期間終了後に向けて、就農支援を行います。



▲今年6月に協力隊員となった村田さん。新規就農に向けて各農家で技術を学んでいます

● 農業体験事業

市内で新規就農を希望する方を対象に、先進農家での1週間程度の農作業体験や農家からの指導・助言などにより、農業の理解促進を図るとともに、希望者自身の農業の適正などを見極める判断材料としていただくため、体験事業を実施しています。

● 農業次世代人材投資事業

次世代を担う農業者になることを目指す方に対し、就農前の研修を後押しする資金および就農直後の経営確立を支援する資金を交付しています。

● 新規就農希望者発掘事業

新規就農者相談会への出展や農業関係の学校などへ訪問し、情報提供を行っています。

【農業者による支援】

- 作業受託組織の設立（合同会社すながわT O H O、渡辺機械共同組合など）
高齢化などにより、広い土地での作業が困難になった農業者が営農を続けられるよう、依頼に応じて農業者同士で設立した組織がそばの作付け・収穫、米の収穫などを行います。

◆安全・安心を地元の食卓へ

砂川市の農畜産物の多くは、新砂川農業協同組合の生産部会による共同販売によつて各市場へ流通しています。そのほか、市内では、A i A i のもぎたて市や砂川ハイウェイオアシス館内のそらいちマーケットなど、地元で採れた新鮮な野菜や加工品が直接購入できる場所が多くあります。地元で生産された農畜産物を地元で販売することにより、流通経費が抑えられ、農業者の収益率の向上につながるメリットが生まれます。

農業者は、砂川市の農業を守るため、さまざまな工夫をして安全・安心な地元産の農畜産物を皆さんの食卓へ届けています。地元産のものを手に取った際には、こうした工夫を感じながら、ぜひ、ご賞味ください。



▲昨年6月にオープンしたそらいちマーケットには、地元のこだわり食材が集まります

【そらいちマーケット】

- ふぁーむ・いのもと（野菜、ミニトマトジュースなど）
- 岩崎農園（野菜など）
- おくやま農園（野菜、野菜加工品、ポプリなど）
- 折目農園（米、野菜など）
- 片桐農園（鉢花など）
- 黒瀬農園（野菜、野菜加工品など）
- 中道ファーム（米、野菜、米粉ワッフルなど）

【加工販売など】

- 岩瀬牧場（ジェラートなどの販売、レストランなど）
- J A 新すながわ女性部きさらぎ会（味噌・トマトジュースなど）
- 中道ファーム（米粉唐揚げなど）
- ノーザン・ベリーズ（ベリー系ジャムなど）
- 三谷果樹園（ジュース、ジャムなど）
ほか

【お問い合わせ】農政係 ☎ 2121